

『令和7年度 第2回 新川地域居宅介護支援事業者連絡協議会研修会』開催のご報告

令和7年10月29日(水)13時30分から、入善町サンウェルせせらぎホールにて 富山県新川厚生センター 保健予防課地域保健班 係長 坂本 聡美先生を講師にお招きし、在宅要介護高齢者の口腔と栄養問題について学びました。



講師 坂本聡美先生

前年度に調査を実施し、認知症で理解力が低下していることや介護力の不足から口腔の衛生が保ちにくい方に対して、どのような方法でアプローチが可能か、また重層的な支援を行うための既存サービスの利用や連携、緑茶カテキンの効用等について意見ができました。

歯磨きの協力が得られない場合には、うがだけでも表面のプラーク除去の効果が得られること、栄養については体重測定が有効かつ簡便な指標となることを再確認いたしました。

日ごろ訪問による相談支援を行っていて、これ以上の介護の手間をどの程度ご家族に要望して良いのかと迷うことも多いですが、家族の状況やケアの優先順位、より適した方法を見極めて助言をできる様にしたいと思います。

また、介護サービスを利用している場合には、サービス担当者会議で情報やアセスメントについて共有しておくこと、多くの支援者で関わる事ができます。チーム一丸となって関わる事が重要だと感じました。

グループワークでは、口腔ケアの訪問指導や無料指導などの案もあり、ぜひ厚生センター様で主体的に取り組み、カバーリングをお願いしたいと思います。

研修の後半は、第1回研修会で挙げた地域課題についてケアマネジャーの視点から、そのことでどのような問題が発生しているのか、問題解決へのアイデア出し、行政及び関係機関への提案等を検討しました。

活発な意見交換がされ、課題の共有のみならず、日頃感じているストレスを話し、解決に向けた様々なアイデアが出されていました。

今後、さらに掘り下げを行い、利用者にとってのより良い支援やケアマネジャーが働きやすい状況を実現できればと思っています。

研修会に参加された皆様 長時間の研修お疲れ様でした。

